

日本土壤微生物学会名誉会員推薦理由書

生越 明 北海道大学名誉教授 会員番号 1340

1937年1月2日生

生越 明氏は、土壤伝染性病原菌の一群であるリゾクトニア属菌が種々の分類群に属する多様な菌であることを報告し、本菌の属、種のカテゴリーを明確にするとともに、主要な種についてはその種内の系統が菌糸融合によって判別可能であることを明らかにしました。本手法は簡便かつ確実であることから全世界で基準的分類法として採用され、リゾクトニア属菌の病原学、分類学および生態学領域の発展に重要な貢献をされました。

同氏は、北海道大学農学研究科を修了し、1961年に北海道大学助手、1966年に農水省農業技術研究所農林技官に転出、1976年に北海道大学助教授、1983年に北海道大学教授と昇任、1995年から4年間農学部長を務め、2000年に定年退職するまで、土壤微生物学および植物病理学についての研究教育に多大な尽力をなされ、広く農学の発展に大きく寄与されました。

日本土壤微生物学会においては、1994年から1998年にわたって会長として当学会の前身である日本土壤微生物研究会の学会化に尽力されるとともに、評議員を歴任され、本学会の発展に大きく貢献されました。

これらの長年にわたる、日本土壤微生物学会への貢献は高く評価されることから、ここに同氏を名誉会員に推挙いたします。

2019年5月17日

推薦人

近藤 則夫 北海道大学 教授 (会員番号 2042)

古屋 廣光 秋田県立大学 教授 (会員番号 1054)

久我 ゆかり 広島大学 教授 (会員番号 2091)

